

Ascent of 14 2001–2024

2026 5.15 FRI
– 5.27 WED

Naoki
Ishikawa 石川直樹

- 1^{First} QOMOLANGMA
- 1^{Second} EVEREST
- 2 LHOTSE
- 3 MAKALU
- 4 GASHERBRUM II

- 5 DHAULAGIRI
- 6 KANGCHENJUNGA
- 7 K2
- 8 BROAD PEAK
- 9 MANASLU
- 10 ANNAPURNA
- 11 NANGA PARBAT
- 12 GASHERBRUM I
- 13 CHO-OYU
- 14 SHISHAPANGMA



©Naoki Ishikawa

FUJIFILM SQUARE

フジフィルム スクエア 企画写真展

会期中無休 入館無料 10:00 – 19:00 (入館は終了10分前まで)

主催 富士フイルム株式会社 後援 大阪市教育委員会

Ascent of 14 2001—2024

8,000メートル峰
14座への旅



Ascent of 14 2001-2024

ぼくは確かにこれらの場所に立ち、写真に写っている風景を見た。これは理屈じゃない。ここにある写真群は、小手先の表現などではなく、まごうことなき自分の生の記録である。30年間にわたって地球上のあらゆる地域を旅してきた。中でも、ヒマラヤに通った日々は最も濃密な体験/経験として身体の奥底に沁みこんでいる。忘れるわけがないのだが、しかし、記憶はどうしても薄れる。両手で丁寧にくっつけた水は、それがどんなに大切な水だとしても、いつしか指の隙間からこぼれ落ち、最後には感触しか残らない。忘れたくない。あの苦しさと喜びを忘れたくない。いくつもの出会いと別れを忘れたくない。だから、ぼくはつづきに写真を撮った。ここにあるのは、自分が死ぬまで、暗闇を照らし続ける光源のような日々の記録である。



Naoki Ishikawa

石川直樹

1977年東京都生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。『NEW DIMENSION』（赤々舎）、『POLAR』（リトルモア）により、日本写真協会賞新人賞、講談社出版文化賞。『CORONA』（青土社）により土門拳賞、『EVEREST』（CCCメディアハウス）、『まればと』（小学館）により日本写真協会賞作家賞を受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』（集英社）ほか多数。最新写真集に『K2』（小学館）、『チョ・オユー』（平凡社）、『Nanga Parbat』（SLANT）など。

写真家の石川直樹氏は、23歳の時に初めてチベットの大地に降り立ち、ヒマラヤへの長い旅への第一歩を踏み出しました。2001年のエベレスト遠征を皮切りに、8,000メートル峰14座に登りながらフィルムカメラで撮影を続け、2024年のシシャパンマ登頂により、14座の完全登頂を達成しました。本展は、最初の遠征で撮影されたポジフィルムをはじめ、展示作品の多くが初公開の作品となります。23年間にわたる石川氏のヒマラヤでの足取りを、大きく引き伸ばされた約70点の写真群によって振り返ります。

FEATURED PHOTOGRAPHS



1 BROAD PEAK 2 K2 3 CHO-OYU

©Naoki Ishikawa

石川直樹写真展 Naoki Ishikawa
2026 5.15 FRI — 5.27 WED

SPECIAL EVENTS

Gallery Talk ギャラリートーク

5月25日月曜 1回目 13:00- 2回目 17:30-

各回30~40分間(参加無料・予約不要)

※写真展会場内で実施、座席はございません。予めご了承ください。

FUJIFILM
Value from Innovation



富士フィルムフォトサロン 大阪

〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7

メットライフ本町スクエア(旧大阪丸紅ビル) 1F

TEL 06(6205)8000 電話受付時間[平日10:00-18:00]

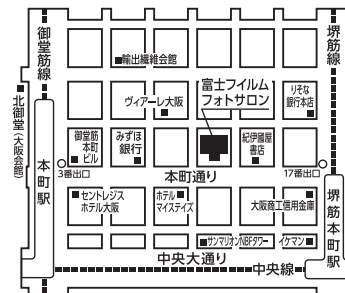
地下鉄御堂筋線「本町」駅下車3番出口より徒歩約5分

地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅下車17番出口より徒歩約3分 **入館無料**

※祝花は固くお断り申し上げます。

※写真展・イベントはやむを得ず中止・変更させていただく場合がございます。

ウェブサイト・電話でご確認ください。 <https://www.fujifilm.co.jp/photosalon/>



MECENAT AWARDS 2025

「フジフィルム スクエア」の活動は、公益社団法人企業メセナ協議会主催の「メセナアワード2025」において、優秀賞-写真文化の継承と若手写真家の育成-を受賞しました。①「富士フィルムフォトサロン」の運営、②「写真歴史博物館」の運営、③「若手写真家応援プロジェクト」の実施、④「フジフィルム・フォトコレクションII」の収蔵・展示の4つの活動が総合的に評価されたものです。